

R4.8 実力テストの出題範囲・学習アドバイス

< 英語 >

【出題範囲】指定なし

- ・共通テストのリスニング・リーディングに寄せた出題をします。
- ・自由英作文（80語程度）も出題します。

【学習アドバイス】 難関校を目指し、かつ共通テスト模試で7～8割以上取れている生徒は、個別試験対策に重点を置き、共通テストにフィードバックされるような学習で良いと思います。そうでない生徒は、共通テスト対策に重点を置き地力を付ける夏休みとしてください。

< 数学 >

【出題範囲】※マーク式、各単元20点

	分野
1	【数学Ⅰ】数と式・2次関数
2	【数学Ⅰ】三角比
3	【数学A】場合の数、確率
4	【数学Ⅱ】三角関数・指数関数・対数関数
5	【数学Ⅱ】微分・積分

【学習アドバイス】 模試や定期テストをもとに、数学における自分の状況（単元別の理解度や1題解くのにかかる時間のチェックなど）を把握してください。その上で自身の状況に合わせた学習計画を立案してください。10人いれば10通りの計画があります。どうすればいいか困っている人は遠慮無く相談に来て下さい。

< 国語 >

【出題範囲】現代文 評論・小説 とともにオリジナル問題

古典 古文・漢文 とともにオリジナル問題

【学習アドバイス】 共通テスト・記述模試の内容をそれぞれ取り込んだ試験内容にします。模試や定期考査を解き直し、苦手箇所を復習してください。テストはすべて初読の文章問題なので、過去模試等解き直しをしっかりと行い、対策して下さい。すべてがオリジナル問題であり、模擬試験を受ける感覚で設問を解いてください。ただし、80分で共通テスト・記述模試をブレンドした内容を解くことになるので、読解の早さが求められます。

< 理科 >

地学基礎 全範囲から出題。共通テストに類似した出題形式、難易度。15問前後。授業で使用している問題集の基礎的な穴埋め、は夏休み中に完璧にし、内容が曖昧な箇所は教科書を読み込むこと。地学的事象（地震・火山・大雨・台風・流星群…）に関心を持つこと。

生物基礎 教科書の内容を一通り（第1部～第4部）出題します。第4部について今回は光合成速度とバイオームの分野をしっかりと確認しておいて下さい。本番に向けて、記述式の解答はありません。問題集も解き直しをして下さい。健闘を祈ります。

化学基礎 授業で使っているテキストの問題から出題します。授業ではまだ解説していない問題からも出題します。実力テストですからね。この夏でテキストを1冊終わらせるくらいの気持ちで取り組んでみてください。目指せ粗品。健闘を祈る。

物理 出題範囲：力学・熱力学・波動

※セミナー物理の発展例題・発展問題・総合問題を改題した問題や、入試頻出問題を出題いたします。

コメント：（夏休みの学習の指針）今回の実力テストの範囲となる力学・熱力学・波動の分野については、問題集（気に入った問題集があれば、セミナー物理でなくてもOKです）を終わらせるくらいの勢いで、取り組んでください。苦手な分野については、（わかりやすい）参考書を併用することもおすすめていたします。とはいえ、理科の文章の読解力をアップさせるためにも、教科書の本文を読み込み、理解するトレーニングも大切です。

※学習方法や問題集・参考書選びで悩んでいる君は、遠慮せずに教科担当まで相談に来てください。

※今回の実力テストで満点もしくは最高得点の者には、粗品を進呈いたします。健闘を祈る。

化学 化学基礎・化学の既習範囲すべてから、これから化学の受験勉強をしていくために「必ず理解していなければならないこと（前提として分かっていること）」を出題します。

生物 既習範囲すべて 基本事項の確認と問題演習をしっかりとってください。

< 地歴公民 >

地理 実力テストの出題範囲は全範囲です。講習参加者はしっかりと講習を受けて力をつけましょう。受けた後も復習を重ねることが大切です。教科書や資料集をこまめに見るくせをつけましょう。短時間でも良いので毎日欠かさず読むことが重要です。3年次に購入した「ウィニングコンパス」の問題をこなしたり、過去の模擬試験を再度解き直しすることが肝要です。

日本史 範囲は、日本史B教科書P8～P147（日本文化のあけぼの～室町文化）共通テスト形式による出題

世界史 第1章オリエントと地中海世界～第3章内陸アジア世界・東アジア世界の形成、第8章近世ヨーロッパ世界の形成～第14章二つの世界大戦まで

共通テスト形式で出題、目標得点は60点以上。

政治経済（文理共通） 3年既習範囲（国際政治全部、経済社会の発展から財政のしくみとはたらきまで）

共通テスト形式で出題、目標得点は70点以上。

最低、政治・経済ノートの該当部分はやっておくこと。

